

平成22年度

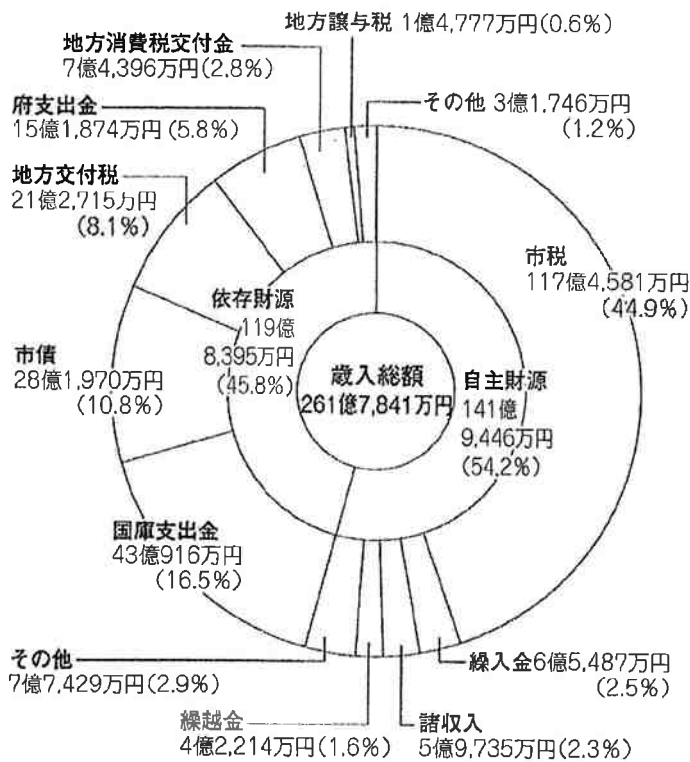
決算

9月市議会で、平成22年度の長岡京市の各会計決算が認定されました。みなさんが納めた税金、国や府から得たお金などがどのように使われたのか「まちの家計簿」についてお知らせします。

◎財政課 財政係

☎955-9541 FAX951-5410

一般会計 歳入の内訳



22年度 各会計の決算額

区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	261億7,841万円	254億5,107万円
特別会計		
国民健康保険事業	73億1,650万円	73億 640万円
乙訓休日応急診療所	7,692万円	6,282万円
公共下水道事業	29億8,034万円	29億7,509万円
老人保健医療事業	1,137万円	1,137万円
介護保険事業	44億6,477万円	44億4,211万円
駐車場事業	5,691万円	5,164万円
後期高齢者医療事業	8億6,743万円	8億3,671万円
財産区(8会計)	6億7,255万円	3,523万円
計	164億4,678万円	157億2,136万円
合計	426億2,519万円	411億7,244万円

市税の状況

区分	22年度	21年度	増減	
市民税	個人	48億5,491万円	53億2,243万円	△8.8%
	法人	6億2,535万円	5億9,377万円	5.3%
	計	54億8,026万円	59億1,619万円	△7.4%
固定資産税	49億2,617万円	48億8,700万円	0.8%	
軽自動車税	6,467万円	6,361万円	1.7%	
市たばこ税	3億3,212万円	3億2,402万円	2.5%	
都市計画税	9億4,259万円	9億3,556万円	0.8%	
合計	117億4,581万円	121億2,637万円	△3.1%	

* 数値は万円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が致しない場合があります。

* △はマイナスを表しています。

歳出は、一年間に市のサイフから出ていくお金です。前年度と比べると3億6117万円(1.4%)増加しました。支出額のトップは民生費で、教育費、総務費、土木費の順になっています。

一般会計の歳出(支出) 254億5107万円

歳入は、一年間に市のサイフに入るお金のことで、中心となる財源である市税の収入総額は、前年度より3億8056万円(対前年度比3.1%)減少しました。市税の内訳を見ると、個人市民税は団塊世代の大量退職や厳しい雇用情勢が続いていることから4億6752万円(8.8%)の減収、法人市民税は3158万円(5.3%)の増収でほぼ前年度並みでした。

そのほかに、増加した主なものは▽地方交付税が8億9553万円(72.7%)の増、▽学校耐震化事業債や臨時財政対策債の発行増により市債が10億4590万円(59.0%)の増などです。減少したものは▽財政調整基金を取り崩さなかったことや、職員退職基金の取り崩しが減ったことなどから繰入金(9億5297万円(59.3%))の減、▽前年度繰越金が減ったことから繰越金が2億9763万円(41.4%)の減などです。

一般会計の歳入(収入) 261億7841万円

平成22年度の一般会計の歳入決算額は、前年度比2.6%増の総額261億7841万円となりました。増加の要因は、団塊世代の退職や景気後退の影響を受けて市税が減少した反面、地方交付税や市債が増加したことなどによるものです。一方、歳出決算額は、同1.4%増の総額254億5107万円となりました。総務費や衛生費で減額となりましたが、民生費や教育費は増額となりました。

